

ヤマシンフィルタ株式会社 2017年3月期 決算説明会

~中国市場回復、米国インフラ投資を追い風に、
基礎となる開発力の強化・生産体制の最適化を図る~

2017年5月22日
(証券コード:6240)



I

2017年3月期 実績

~中国市場の回復がより鮮明に~

II

2018年3月期 通期計画

~生産体制最適化に向けた飽くなき挑戦~

III

事業ポートフォリオの拡大

~次世代イノベーションを生み出す土台を構築~

I . 2017年3月期 実績

~中国市場の回復がより鮮明に~



2017年3月期 実績(2016/4 - 2017/3)



- 中国市場の回復を背景に、前期比増収、大幅増益を達成

		16.3期	17.3期	17.3期	前期比増減	
		実績	当初計画 (2016/5/13)	実績	金額	%
(単位:百万円)						
売上高		9,458	8,670	10,007	548	5.8%
営業利益		407	344	957	550	135.2%
当期純利益		183	181	640	456	247.9%
為替レート	USD	120.1	120.0	108.4	△ 11.7	△9.8%
	EUR	132.6	130.0	118.8	△ 13.8	△10.4%

※業績予想については、2016年11月4日、2017年2月3日時点において、それぞれ修正値を開示しております。

※実績為替レートは期中平均の値です。

製品別売上高

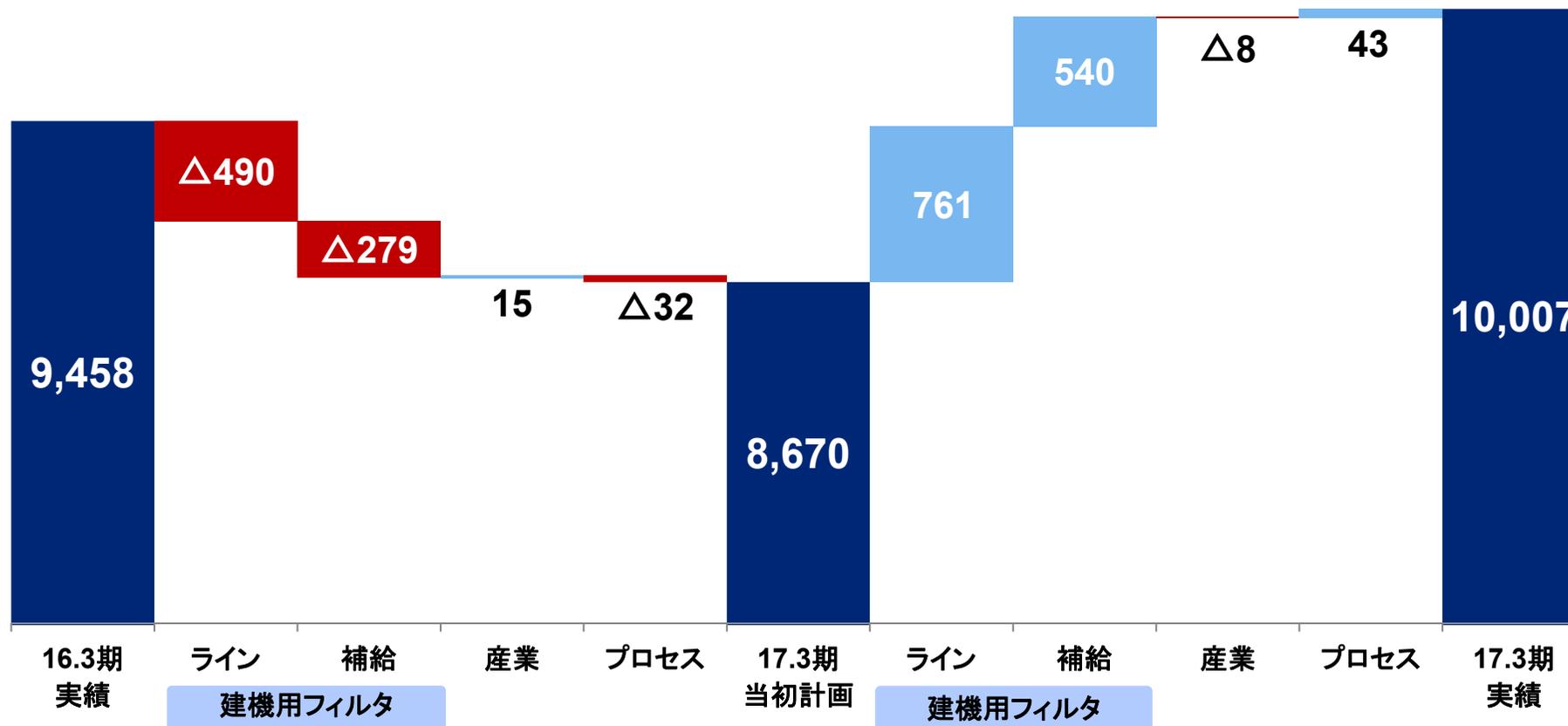
- 上期は、中国市場の回復を受けて、補給品が底入れ
- 下期は、補給品の回復に加え、中国公共工事の増加によりライン品が増加

	16.3期	17.3期	17.3期	前期比増減	
	実績	当初計画 (2016/5/13)	実績	金額	%
(単位:百万円)					
建機用フィルタ	8,174	7,403	8,705	530	6.5%
ライン品	3,553	3,062	3,825	272	7.7%
補給品	4,620	4,340	4,879	258	5.6%
産業用フィルタ	468	483	475	7	1.5%
プロセス用フィルタ	815	783	826	10	1.3%
売上高合計	9,458	8,670	10,007	548	5.8%

売上高の増減要因

- 上期は、中国市場の回復を受けて、補給品が底入れ
- 下期は、補給品の回復に加え、中国公共工事の増加によりライン品が増加

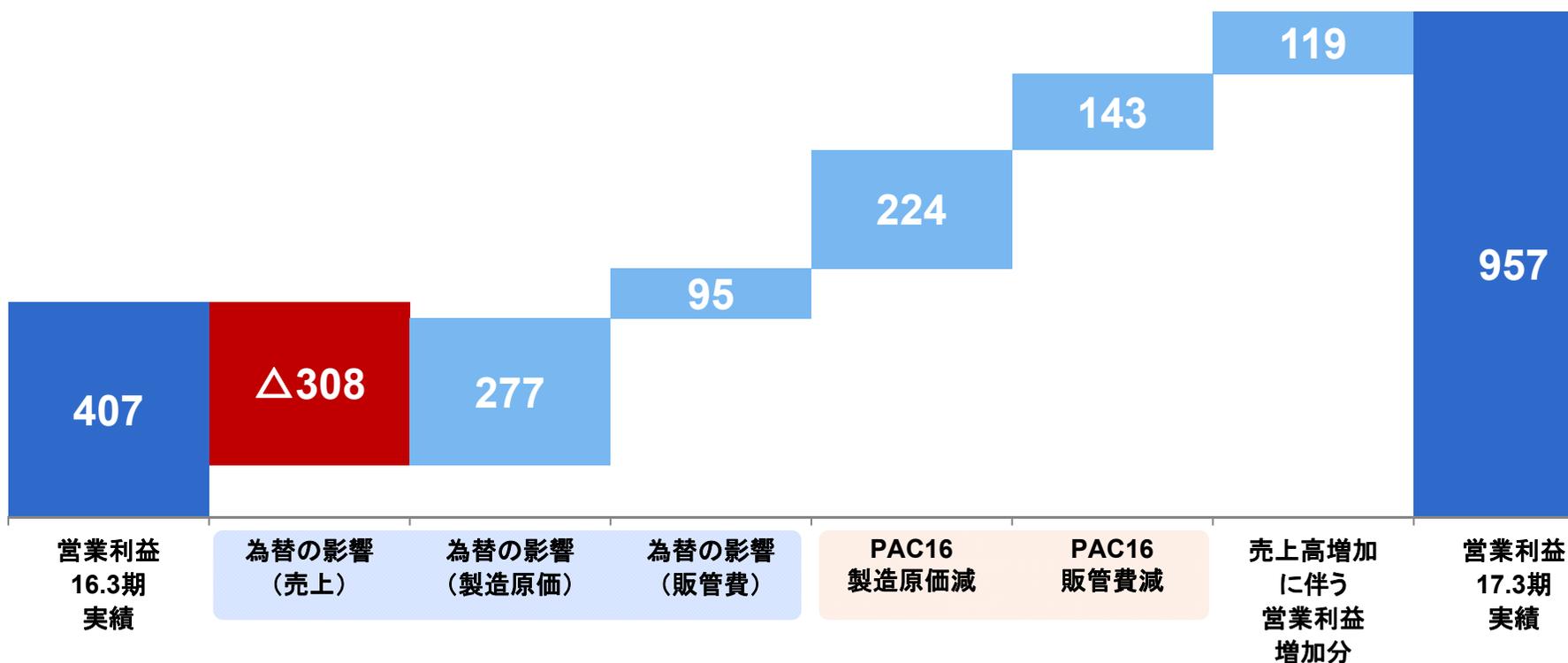
(単位:百万円)



営業利益 増減要因

- 営業利益段階での為替の影響は軽微にとどまる
- PAC16の推進により大幅増益を実現

(単位:百万円)



Project PAC 16での取り組み

- コストダウン活動により、利益体質を強化した

PAC16とは

Promptly
迅速

Activated
かつ効果的な

Cost reduction 20
コスト削減計画

16

背景

科目

アクション
プラン

削減目標/
達成額

市場の低迷
売上減少

製造原価

生産の効率化
サプライチェーン
強化

目標:約1.8億円
達成:約2.2億円

販売管理費

営業経費、
管理費の削減

目標:約1.2億円
達成:約1.4億円

貸借対照表

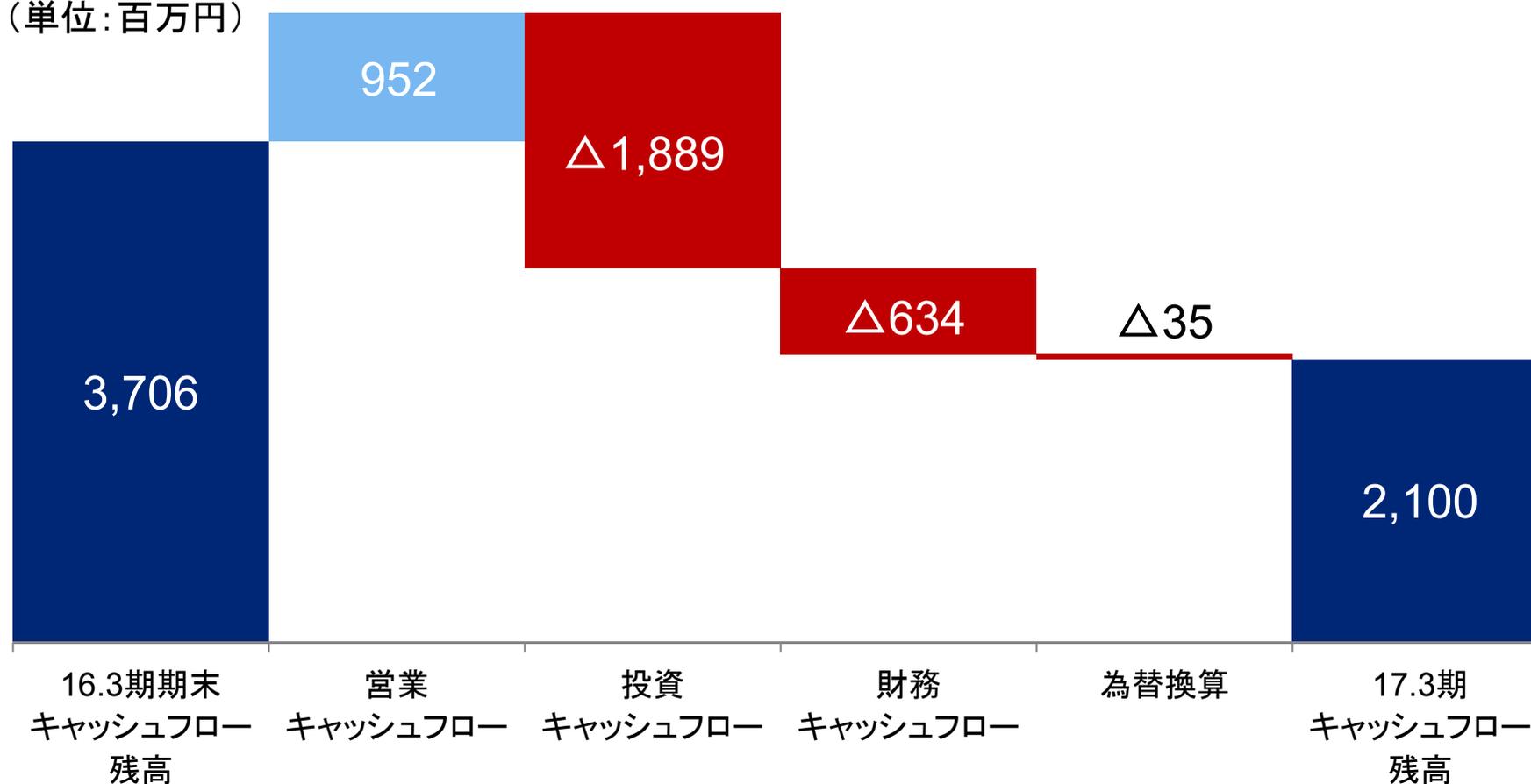
● 総資産経常利益率は上昇(16.3期 3.7%→17.3期 9.5%)

(単位:百万円)	2016/3期 期末	2017/3期 期末	増減額	増減率		2016/3期 期末	2017/3期 期末	増減額	増減率
流動資産	7,604	6,695	△ 909	△12.0%	流動負債	1,704	2,374	669	39.3%
現金・預金	3,806	2,263	△ 1,542	△40.5%	支払手形及び買掛金	796	1,085	289	36.4%
受取手形及び売掛金	1,880	2,480	600	31.9%	短期借入金 1年以内返済社債・長借	500	500	-	-
商品・製品 & 原材料・貯蔵品	1,465	1,457	△ 7	△0.5%	その他	407	788	380	93.2%
その他	452	493	41	9.1%	固定負債	1,617	1,131	△ 486	△30.1%
固定資産	1,919	3,462	1,543	80.4%	社債	800	600	△ 200	△25.0%
有形固定資産	1,322	1,272	△ 50	△3.8%	長期借入金	450	150	△ 300	△66.7%
無形固定資産	97	292	195	200.2%	退職給付に係る負債	164	173	9	5.8%
投資その他資産	499	1,897	1,398	280.2%	その他	203	207	3	2.0%
資産合計	9,523	10,158	634	6.7%	純資産合計	6,201	6,652	450	7.3%
					負債純資産合計	9,523	10,158	634	6.7%
					*自己資本比率	65.1%	65.5%		

キャッシュフローの増減要因

- 固定資産等の取得により、投資CFが1,889百万円マイナス

(単位:百万円)



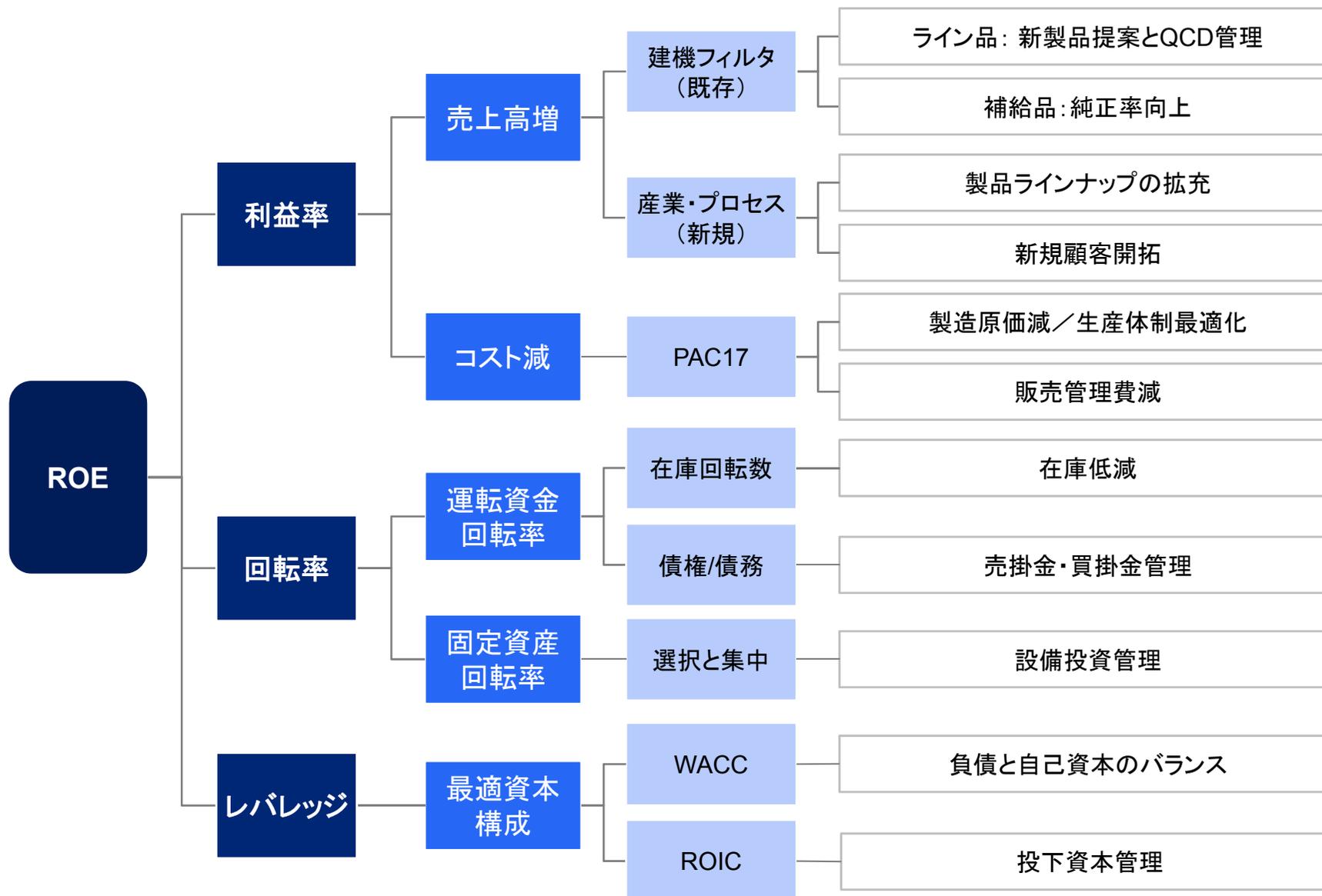
2017年3月期の為替マリーの状況

- グループ取引の7割以上は円取引
- 円以外の取引通貨のほとんどはUSDで、ほぼ完全に為替マリーしている

(単位:百万)

Currency	Incoming		Outgoing		Net		Net 円換算 (JPY)	円高ケース(10%)			円安ケース(10%)		
	各通貨	構成比	各通貨	構成比	各通貨	期中平均 レート (JPY)		期中平均 レート ▲10% (JPY)	円換算 (JPY)	影響額 (YTD)	期中平均 レート +10% (JPY)	円換算 (JPY)	影響額 (YTD)
JPY	¥13,200.0	75%	¥11,700.0	71%	¥1,500.0	-	-	-	-	-	-	-	-
USD	\$33.5	21%	\$32.3	21%	\$1.2	¥108.4	¥130.1	¥97.56	¥117.08	¥13.01	¥119.25	¥143.09	¥-13.01
EUR	€ 4.8	3%	€ 3.3	2%	€ 1.5	¥118.8	¥178.2	¥106.94	¥160.40	¥17.82	¥130.70	¥196.05	¥-17.82
PHP	PP0.0	0%	PP390.0	5%	PP-390.0	¥2.3	¥-879.8	¥2.03	¥-791.80	¥-87.98	¥2.48	¥-967.75	¥87.98
THB	฿70.2	1%	฿23.2	0%	฿47.00	¥3.1	¥144.9	¥2.77	¥130.39	¥14.49	¥3.39	¥159.37	¥-14.49
Total	-	100%	-	100%	-	-	¥-426.6	-	¥-383.93	¥-42.66	-	¥-469.25	¥42.66

ROE分解



Ⅱ. 2018年3月期通期計画 ~生産体制最適化に向けた飽くなき挑戦~



建機市場を取り巻く外部環境の総括

	1年前	現状	今後の見通し
中国	<ul style="list-style-type: none">● 不動産投資鈍化により大幅な減産	<ul style="list-style-type: none">● 公共投資の下支えにより需要は回復傾向	<ul style="list-style-type: none">● 政策の下で、設備投資をコントロール
北米	<ul style="list-style-type: none">● エネルギー関連投資の低迷を受け減産	<ul style="list-style-type: none">● インフラ投資により、回復の兆しを見せる	<ul style="list-style-type: none">● インフラ投資の拡大傾向が強まる
日本	<ul style="list-style-type: none">● 排ガス規制駆け込み需要の反動	<ul style="list-style-type: none">● 排ガス規制駆け込み需要の反動が続く	<ul style="list-style-type: none">● 環境規制対応の駆け込み需要増加
東南アジア	<ul style="list-style-type: none">● 他アジア地域も、中国市場低迷の影響を受け減産	<ul style="list-style-type: none">● インフラ投資は低迷だが、鉱山機械投資は回復の兆し	<ul style="list-style-type: none">● 中国市場の回復を受け増産傾向

市場の見通し

中国市場は回復傾向が鮮明に
世界的な新車建機需要は前期を上回る想定

為替の前提

17.3期実績 1ドル 108円
18.3期想定 1ドル 115円
為替マリーによってリスクをヘッジ

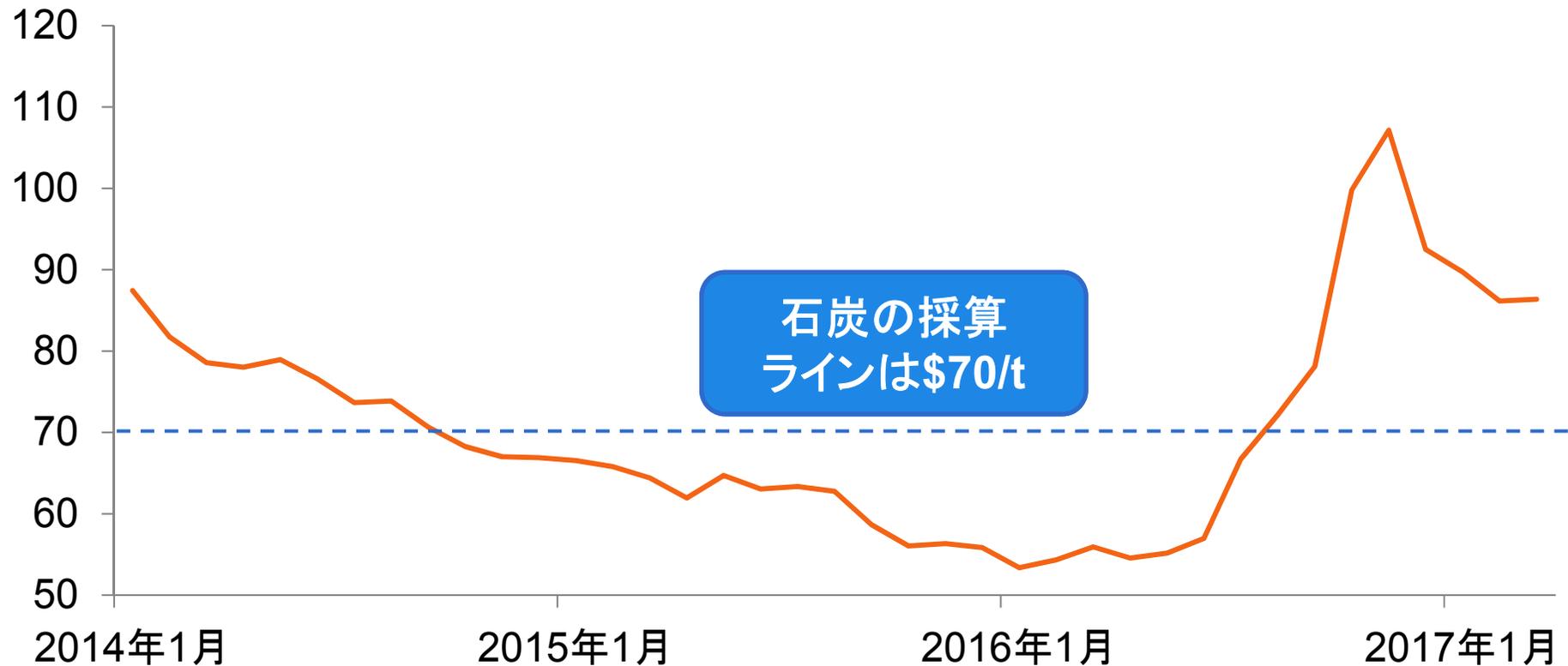
補給品の動向

中国での建設機械の稼働時間は増加傾向
アフターマーケット事業の推進を継続して行う

(参考)マイニングの動向を図る上での指標 The Specialist in Filtration YAMASHIN

- 中国景気回復による石炭取引単価が上昇傾向
- インドネシアのマイニングが上記理由で活況

(単位:USD/トン)



出所: International Monetary Fundのデータを基に当社作成

2018年3月期 通期業績予想

- 売上高は、中国市場の本格回復、アジア諸国への波及を期待
- 利益段階は、先行投資を実施することで、前期比小幅増益

		17.3期	18.3期	前期比増減	
		実績	計画	金額	%
(単位:百万円)					
売上高		10,007	11,090	1,082	10.8%
営業利益		957	980	22	2.3%
当期純利益		640	660	20	3.1%
為替 レート	USD	108.4	115.0	6.6	6.1%
	EUR	118.8	120.0	1.2	1.0%

2018年3月期 売上予想 製品別

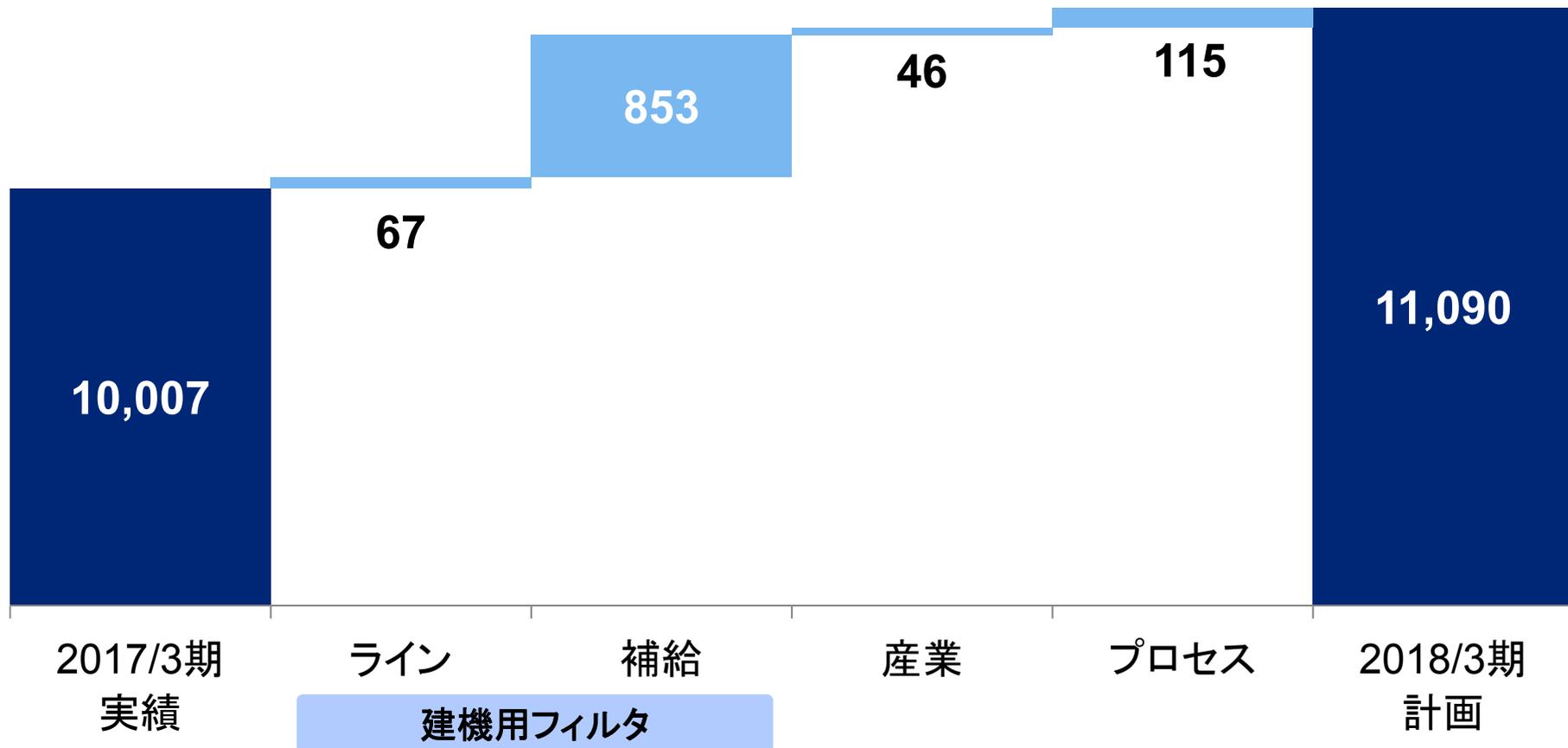
- 建機メーカー各社のアフターマーケット事業の推進による、需要増加を着実に取り込み、補給品2桁増収を見込む

	17.3期	18.3期	前期比増減	
	実績	計画	金額	%
(単位:百万円)				
建機用フィルタ	8,705	9,626	921	10.6%
ライン品	3,825	3,893	67	1.8%
補給品	4,879	5,732	853	17.5%
産業用フィルタ	475	521	46	9.8%
プロセス用 フィルタ	826	941	115	13.9%
売上高合計	10,007	11,090	1,082	10.8%

売上高の増減要因

- 建機メーカー各社のアフターマーケット事業の推進による、需要増加を着実に取り込み、補給品2桁増収を見込む

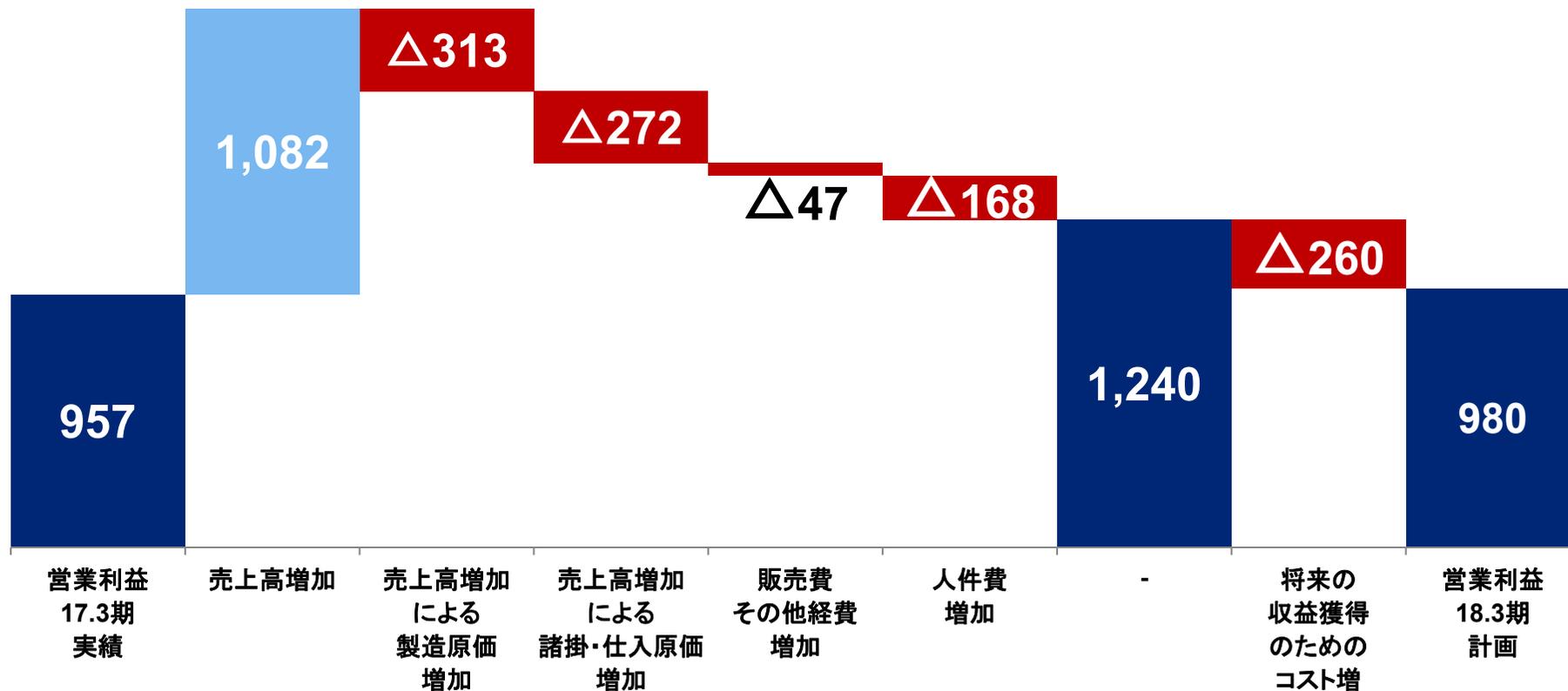
(単位:百万円)



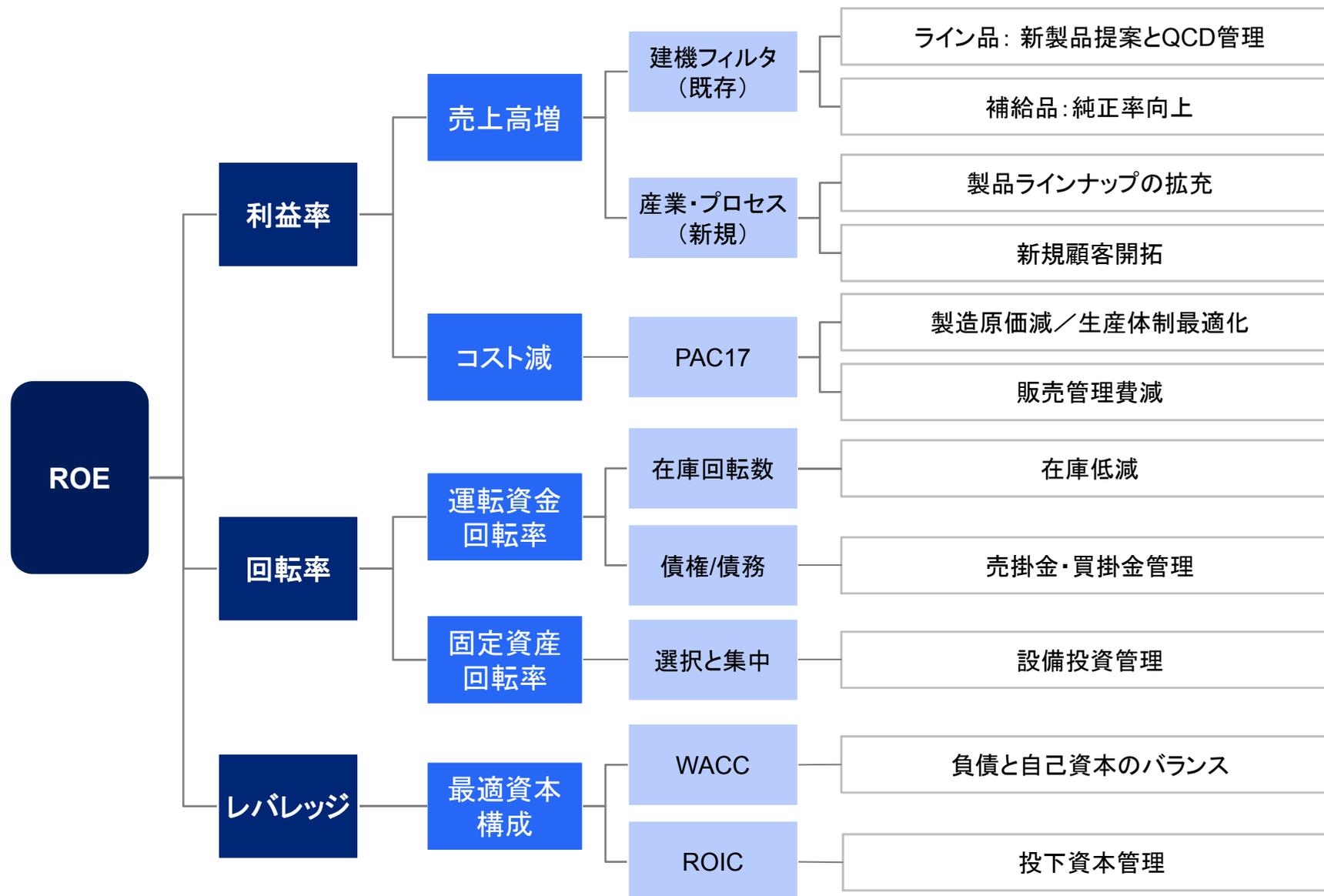
2018年3月期 通期業績見通し -営業利益-



- 営業利益の増額は小幅にとどまるが、戦略的なコスト増によるもの

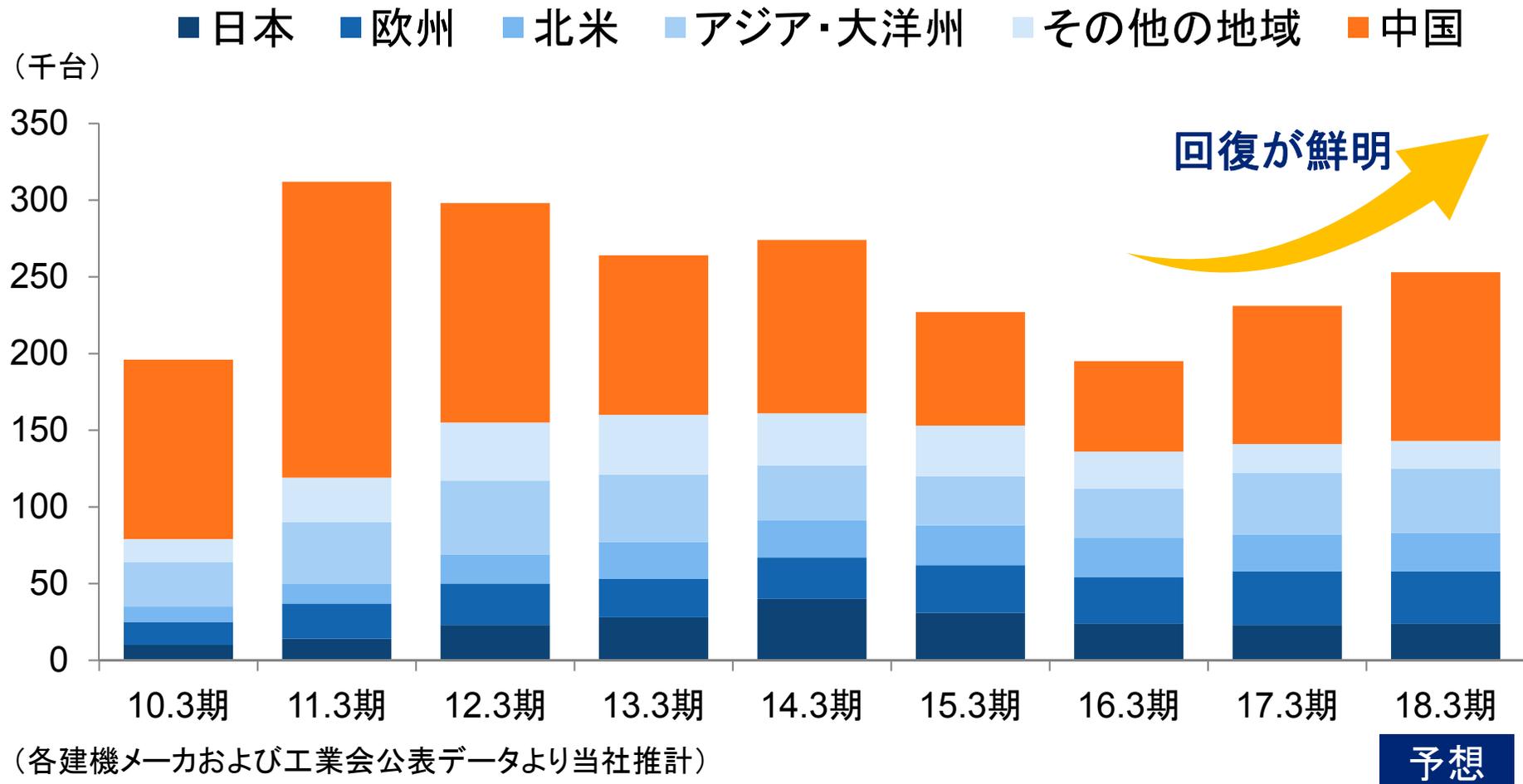


ROE分解(再掲)



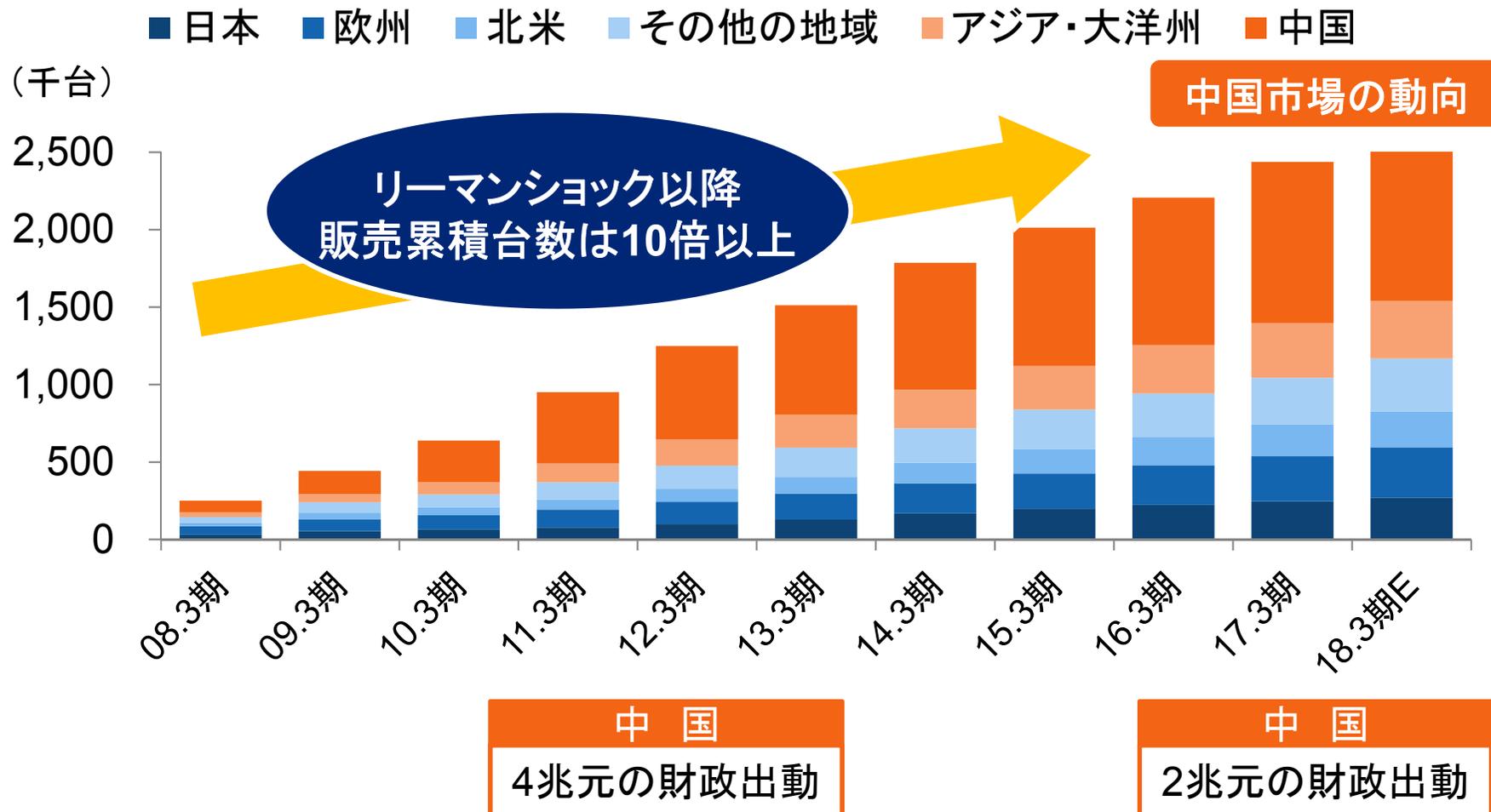
事業環境/油圧シヨベル新車需要

- 中国建機市場は、公共工事等により回復が続く見込み



新車販売累積台数

● リーマンショック以降も販売累積台数は増加



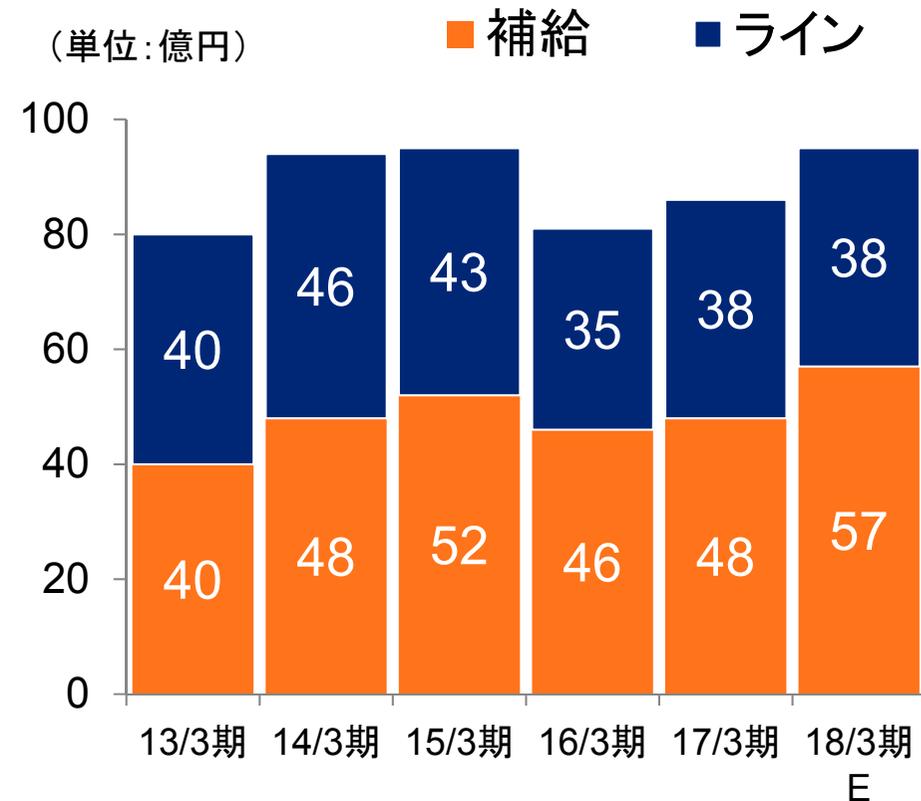
補給品需要

- 補給はストックモデル。
建機の稼働台数の蓄積により、安定した需要拡大が見込める

17.3期 建機用フィルタ 売上構成



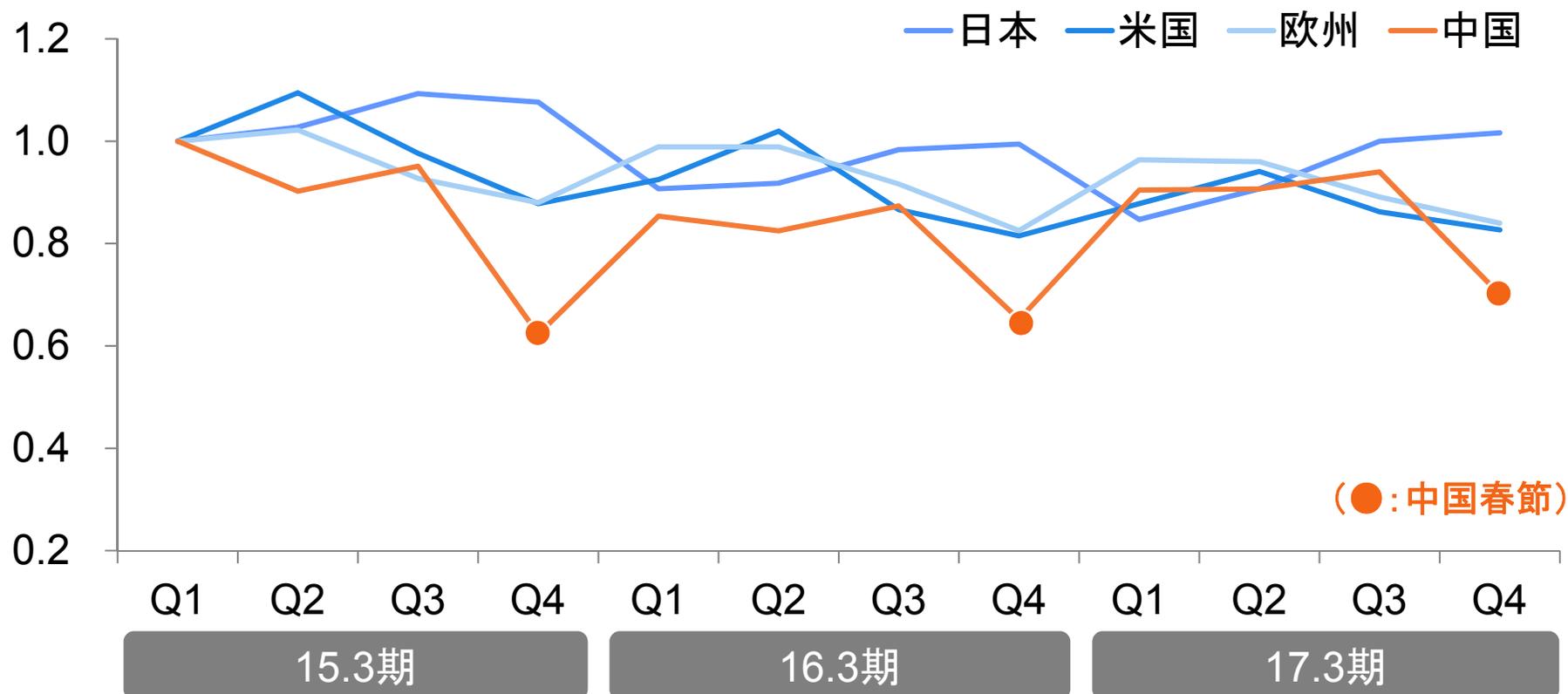
補給・ラインの売上高推移



建機稼働時間

- 17.3期の中国での建機稼働時間は、対前年同期比較で回復

(2014年4~6月の値を1.0として指数化、四半期ごとの推移)



出所: 野村証券アナリストレポートをもとに当社作成

研究開発費・設備投資・減価償却費の推移

- 将来の収益獲得のため、設備投資を増加

主な投資案件

17.3期

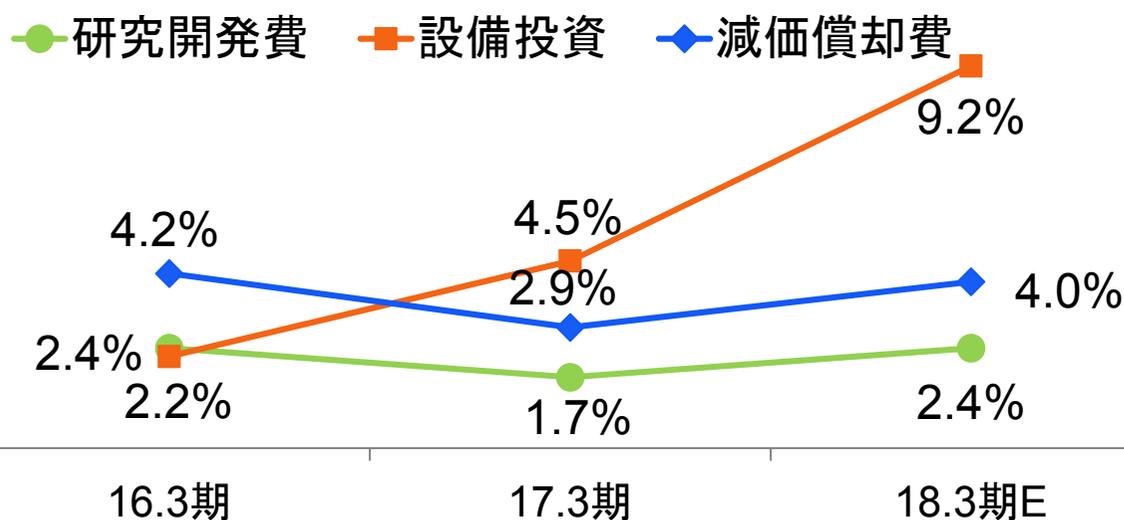
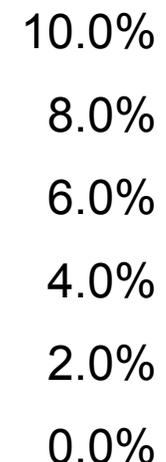
ERP関連
248百万円

18.3期

生産設備、
R&D関係等
646百万円

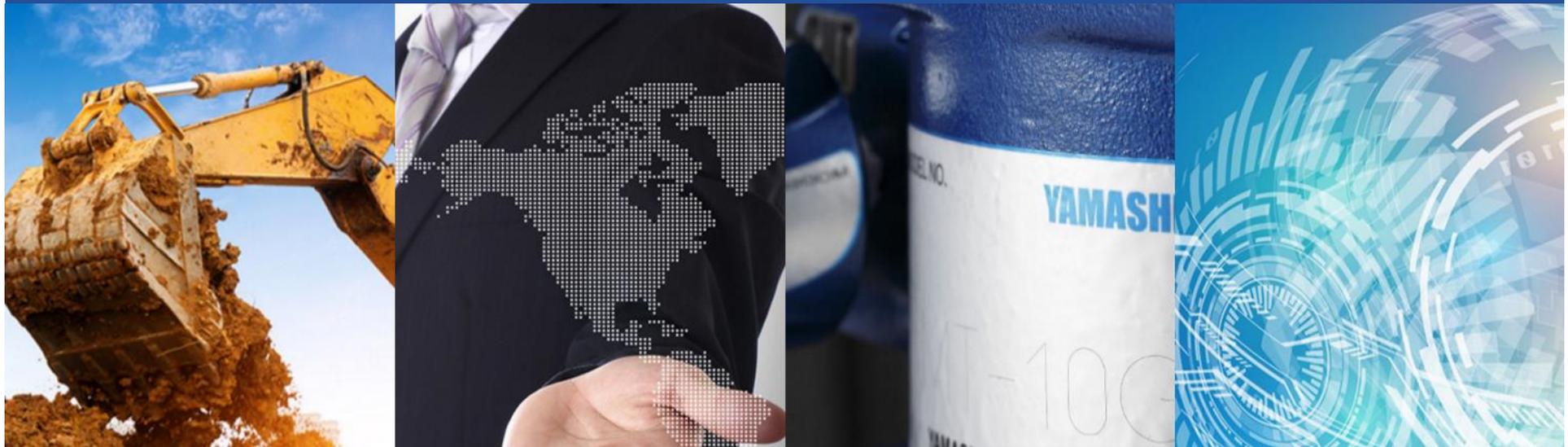
(単位:百万円)

売上高
構成比%



	研究開発費	225	172	267
	設備投資	207	448	1,017
	減価償却費	393	294	444

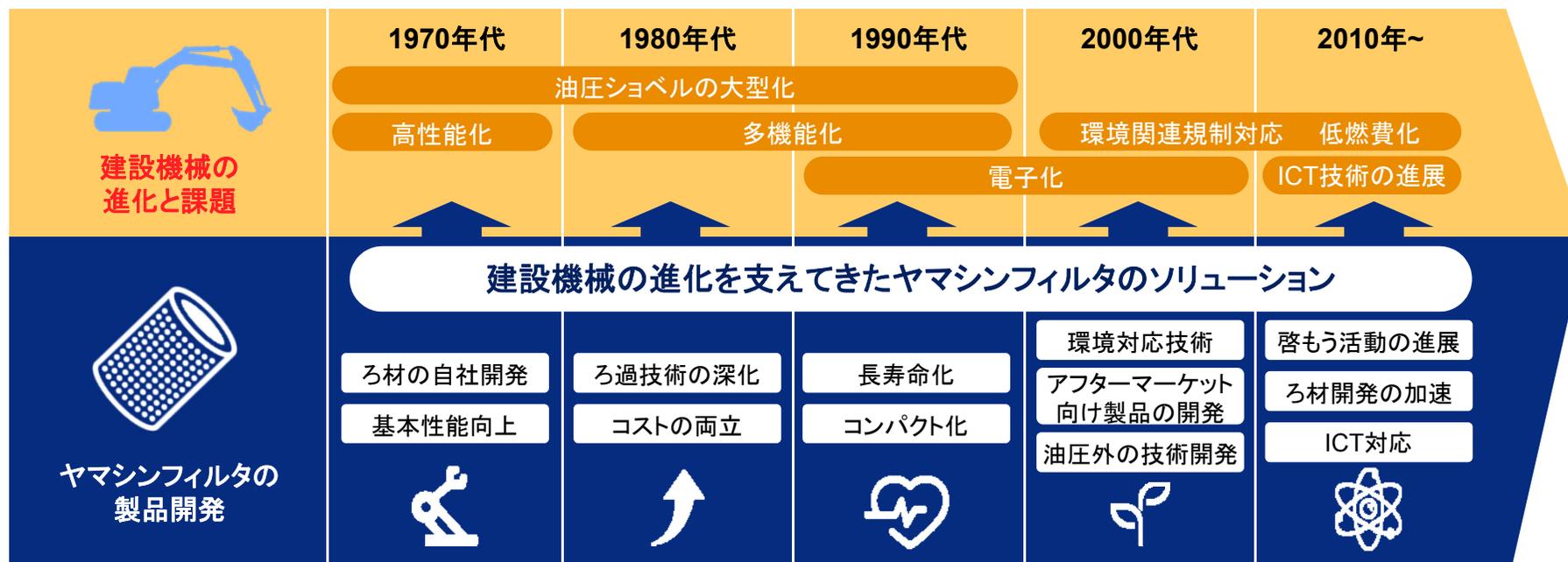
Ⅲ.事業ポートフォリオの拡大 ~次世代イノベーションを生み出す土台を構築~



建設機械の進化とヤマシンフィルタの取り組み

● 建設機械の進化を支え続けてきた「提案力」と「設計力」

60年の実績	建機用フィルタメーカーとして60年の実績を有し、建機メーカーとともに性能・品質向上に邁進。
油圧フィルタの必要性の高まり	油圧の飛躍的な能力向上。一方、高圧化する油圧内部でも正常にろ過するフィルタが必要に。
ガラス繊維／ろ材の開発	それまでは紙が当たり前だったろ材に代わるガラス繊維ろ材を開発。飛躍のきっかけとなった。
革新の連鎖	現在も、建設機械の課題に常に立ち向かい、フロントランナーとして新たな課題に挑んでいる。



売上拡大策の俯瞰図

		対応方針のKeyword	効果検証
建機 フィルタ	ライン品	故障予知、ICT技術の提案	実機データ収集段階
		効率化の提案	試験データ収集段階
	補給品	セミナー展開によって 非純正品からのシェア奪回	中国等のエリア特性に合わせた マーケティング活動を順次展開
産業 フィルタ		パートナーとの協力体制強化	パートナーとの協業進む。 既存製品のコスト減へ
プロセス フィルタ		製品シリーズの多様化	ラインナップ拡充に向けた開発を スタート

PACの進化 ~16と17の違い~

- PAC17は「購買改革」、「サプライチェーンの見直し」によるコスト低減を目指す

PAC16

- 材料の歩留まり改善
- 不良率の低減
- 調達/図面設計の効率化
- 機械設備活用による品質安定
- ろ材ロスの削減
- 出張計画の効率化/合理化等

製造原価 1.8億円
販管費 1.2億円

狙い

具体的
取り組み

削減目標

PAC17

- 購買改革
- サプライチェーンの見直し
- 海外サプライヤーの新規開拓
- 調達計画改善、購入単価低減
- 外注生産も視野に入れた、生産移管の展開

製造原価 2.1億円
販管費 0.4億円

生産体制最適化に向けた“ヤマシン・トライアングル”

- 競合フィルタメーカー生産体制に対して迅速にキャッチアップするため、
購買/生産を徹底的に見直す

調達購買力

- グローバルでの新規サプライヤーの
開拓に取り組む

生産技術力

- 自動化生産設備の本格的導入・
カスタマイズに取り組む

ヤマシン
生産体制

=

調達購買力

×

生産技術力

×

生産システム

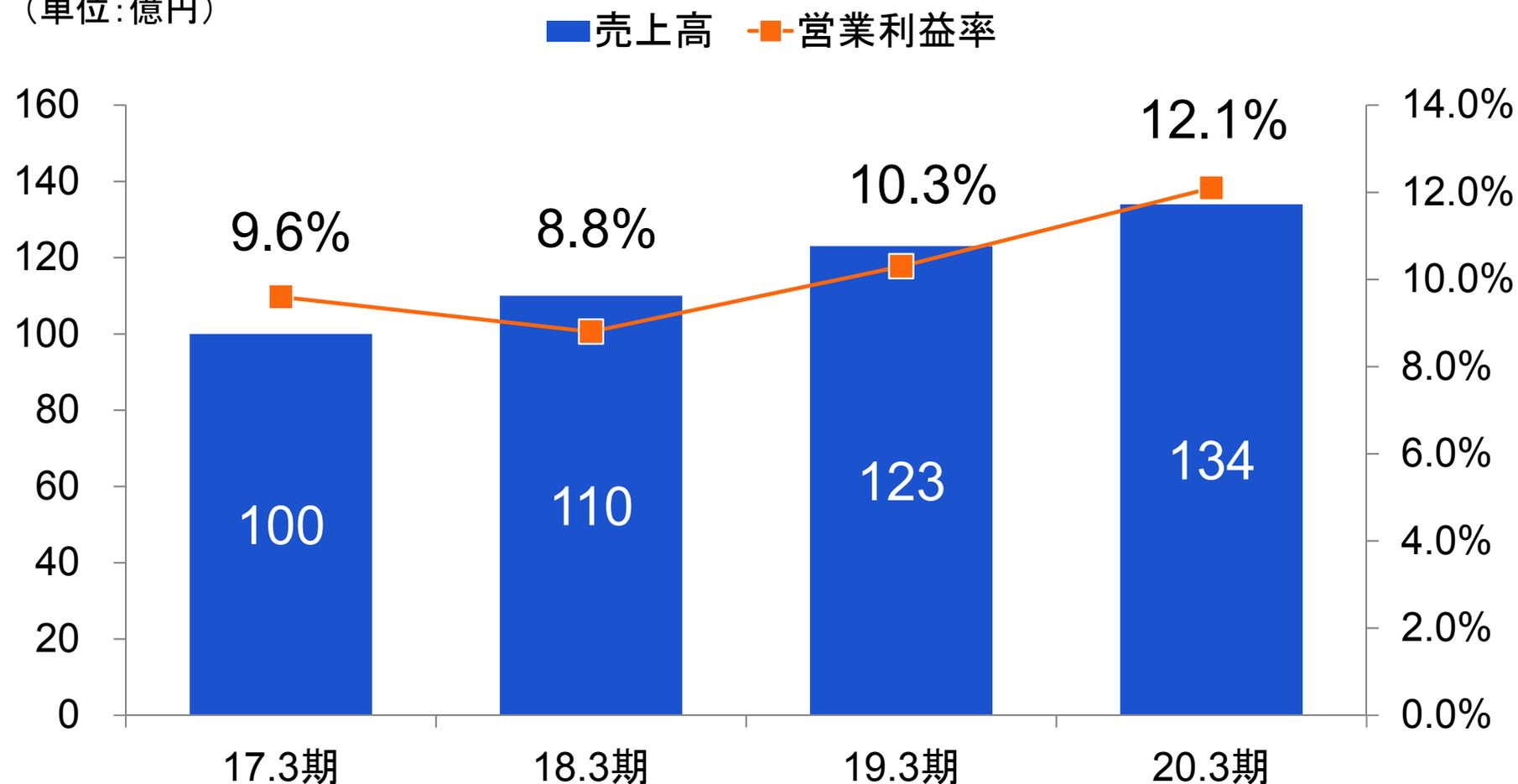
生産システム

- 生産効率性を追求した、計画生産の展開を進める

中期経営計画

- 3年後の2020年3月期に、売上高134億円、営業利益率約12%を目指す

(単位:億円)

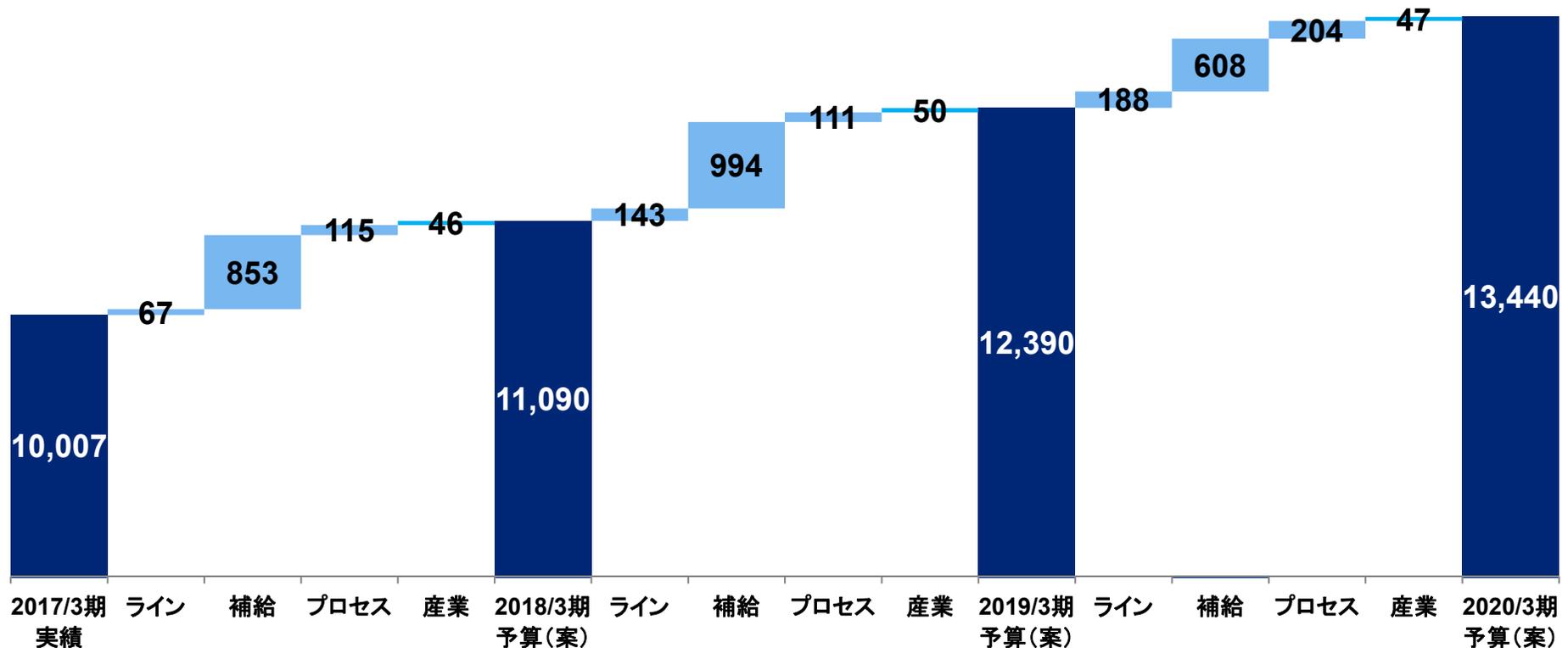


中期経営計画の売上高推移

- 回復基調にある中国、アジア市場の影響によりライン品、補給品売上高増加

売上高推移

(単位:百万円)



中国建機市場への取り組み

- 三一重機への本格採用は決定
- 今後は、三一重機以外の中国中堅メーカーへの販売を目指す

三一重機とは

中国最大の総合建機メーカーである
三一集団のグループとして、
油圧ショベル等を製造・販売する企業

前回

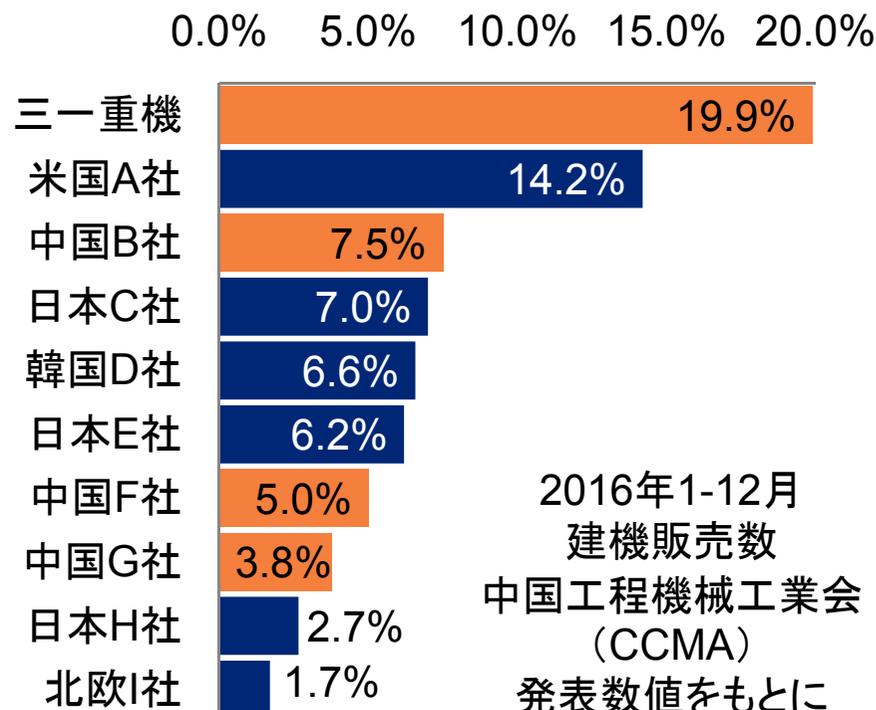
当初計画通り、
2016年4月より
商品供給を開始

今回

2016年10月より
需要が本格化

中国建機販売上位10社

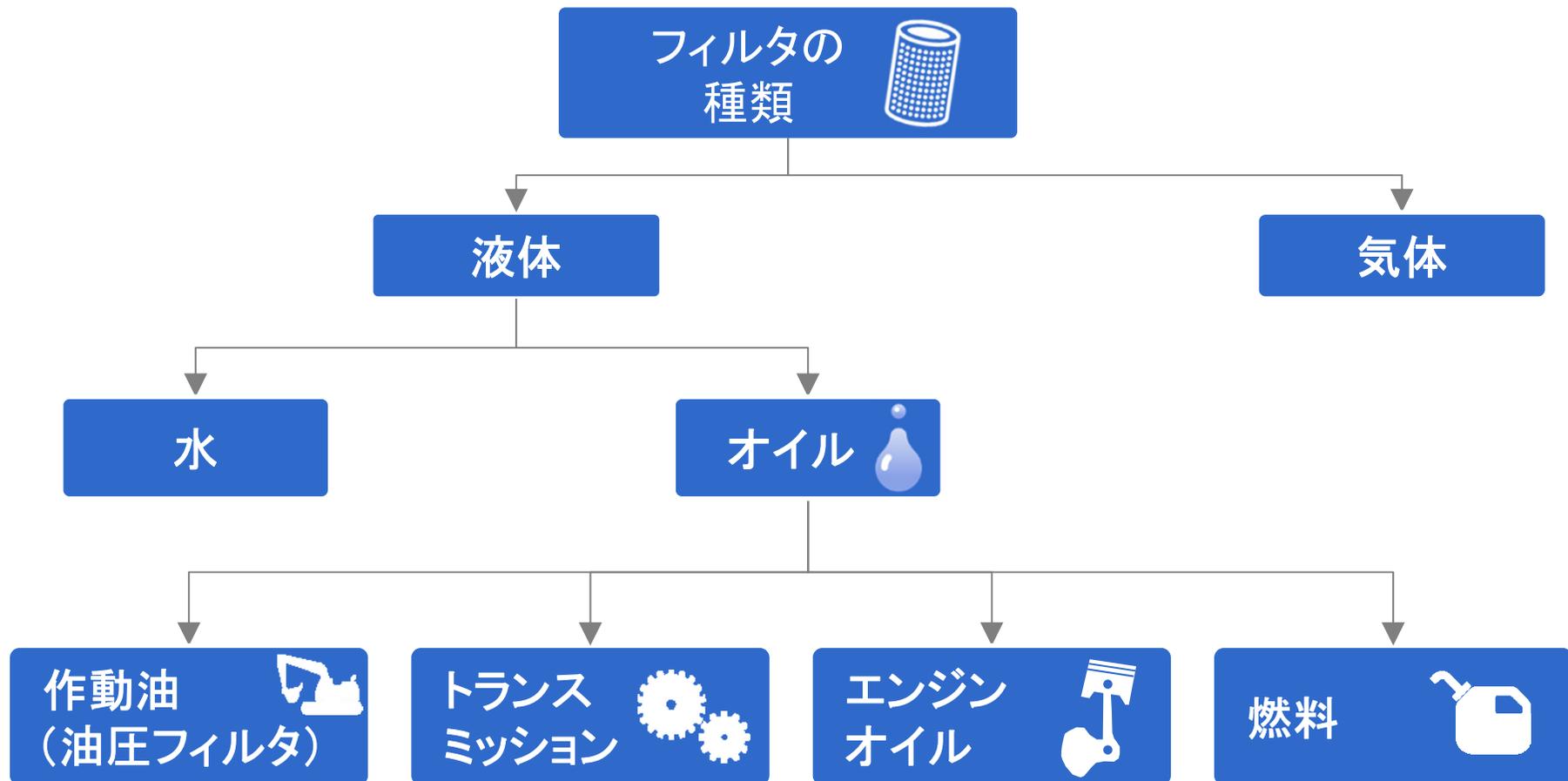
中堅以下を含めた中国系で5割を占める



2016年1-12月
建機販売数
中国工程机械工業会
(CCMA)
発表数値をもとに
当社作成

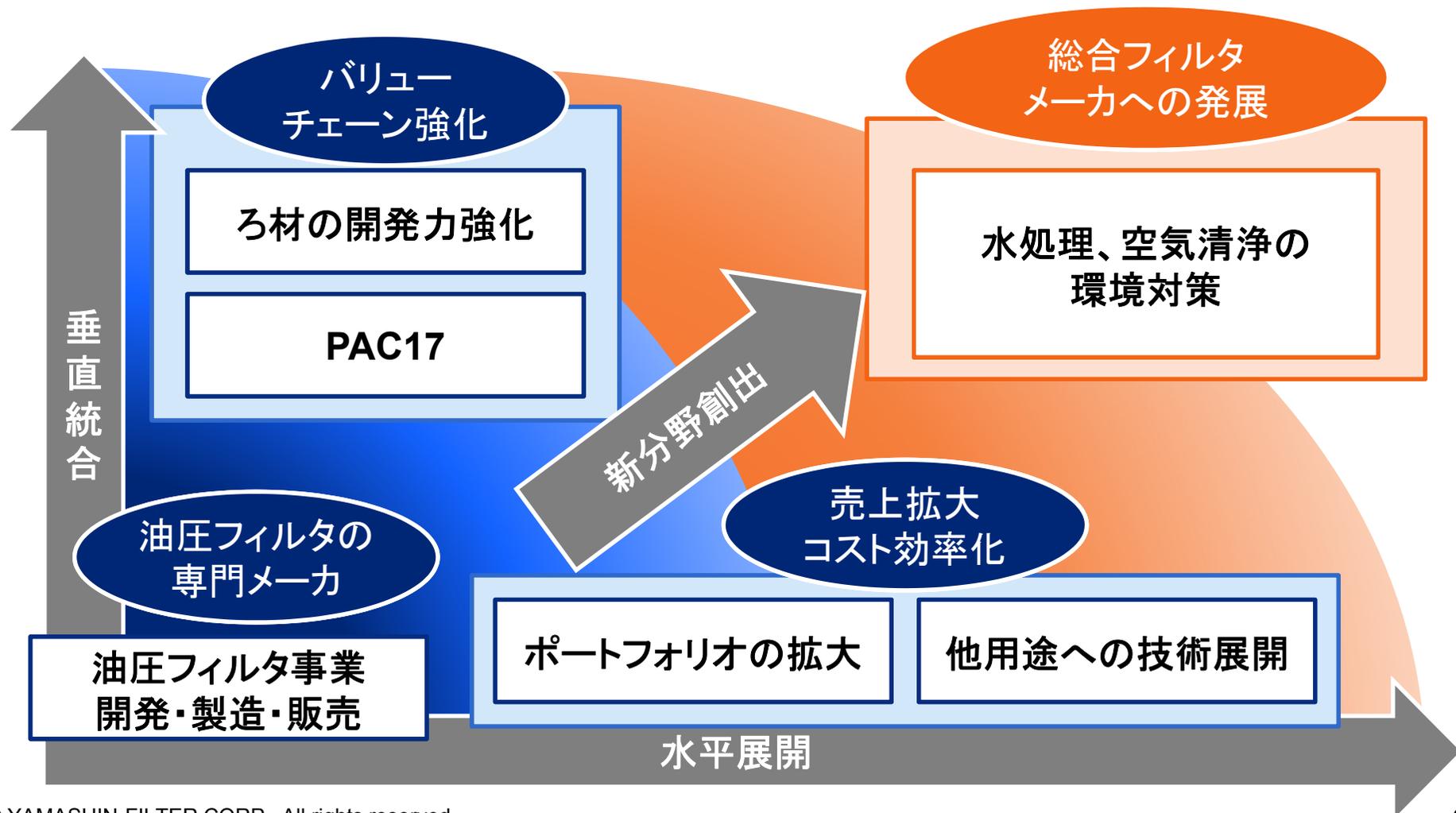
事業ポートフォリオの拡大

- オイル以外の液体や気体分野への事業展開を目指す



新たなる成長への道筋

- 垂直統合・水平展開を進めながら、企業価値を底上げしていく



株主還元

- 中間配当7円、期末配当7円の、年間14円に増配

	16.3期	17.3期	18.3期
1株当たり 配当金	10円	12円	14円
DOE	2.0%	2.3%	2.6%
総還元性向	74.1%	25.6%	31.6%

※2018年3月期については、現時点での予定です。

※総還元性向=(配当総額+自己株式取得+株主優待)÷当期純利益

本日の決算説明会のまとめ

17.3期 実績

- 中国市場の回復がより鮮明に

18.3期 通期計画

- 購買力強化に向けた飽くなき挑戦

事業ポートフォリオ の拡大

- 次世代イノベーションを生み出す土台を構築

參考資料



当社決算の特徴

セグメント と KPI

- 建機用フィルタは「ライン品」と「補給品」にわかれる
- ライン品は新車搭載用のフィルタ
 - 重要指標は、「新車需要台数」
- 補給品は交換部品用のフィルタ
 - 重要指標は、「稼働台数」×「稼働時間」

販売形態 地域別動向 コスト削減

- 販売形態
 - 建機用フィルタの売上は、建機メーカーへの直接販売(100%)
エンドユーザへの直販は基本的に行っていない
- 地域別動向
 - 地域別売上高は参考値。当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と異なる
- **PAC16 (Promptly Activated Cost reduction 2016)**
 - 売上の低迷を背景とした、全社的なコスト削減プロジェクト

地域別売上高 実績（参考）

- （注）当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

	16.3期 実績		17.3期 実績		18.3期 計画	
	金額	%	金額	%	金額	%
(単位:百万円)						
国内	4,885	51.6%	5,198	51.9%	5,597	50.5%
北米	1,722	18.2%	1,712	17.1%	2,094	18.9%
中国	540	5.7%	948	9.5%	921	8.3%
アジア	1,053	11.1%	1,174	11.7%	1,362	12.3%
欧州	1,120	11.8%	978	9.8%	1,017	9.2%
その他(中東他)	137	1.4%	△ 5	△0.1%	96	0.9%
売上高合計	9,458	100.0%	10,007	100.0%	11,090	100.0%

2017年3月期 第4四半期(1-3月)

- 中国市場の回復を背景に、前期比で増収増益を達成

		16.3期 1-3月	17.3期 1-3月	前年同期比増減	
		実績	実績	金額	%
(単位:百万円)					
売上高		2,222	2,803	580	26.1%
営業利益		184	250	66	36.2%
当期純利益		108	168	60	55.2%
為替 レート	USD	115.5	113.6	△ 1.8	△ 1.6%
	EUR	127.2	121.1	△ 6.1	△ 4.8%

※実績為替レートは期中平均の値です。

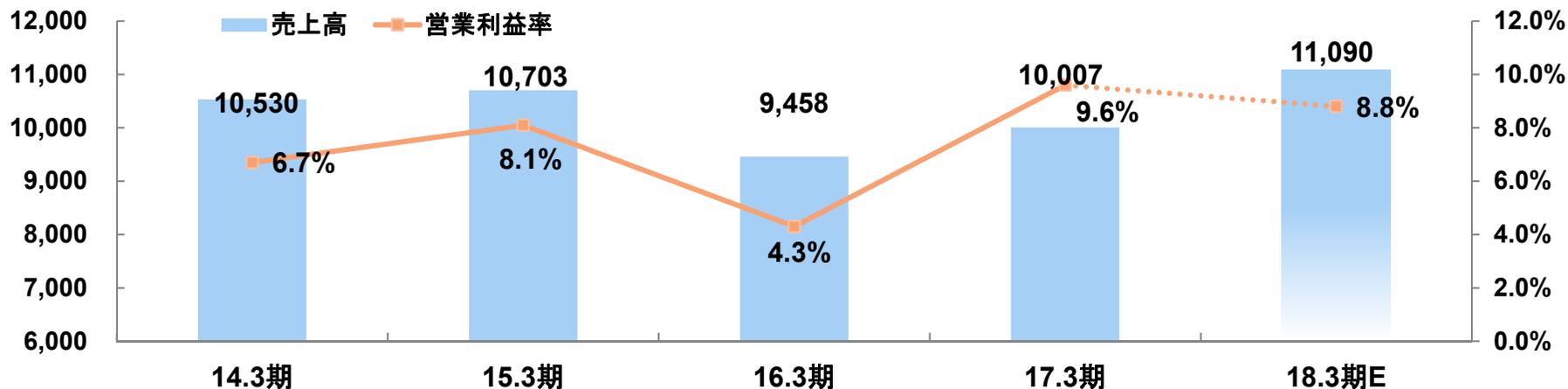
製品別売上高 第4四半期（1-3月）

- 中国市場の回復を背景に、ライン品・補給品ともに増収を達成

	16.3期 1-3月	17.3期 1-3月	前年同期比増減	
	実績	実績	金額	%
(単位:百万円)				
建機用フィルタ	1,941	2,449	508	26.2%
ライン品	939	1,152	213	22.7%
補給品	1,002	1,297	295	29.4%
産業用フィルタ	109	145	35	32.4%
プロセス用フィルタ	171	208	37	21.7%
売上高合計	2,222	2,803	580	26.1%

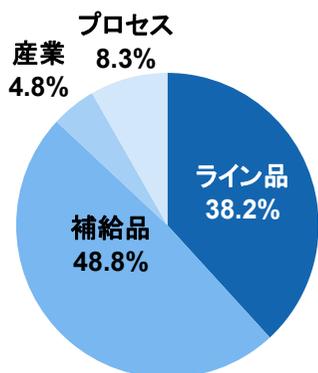
売上高・営業利益率推移

(単位:百万円)

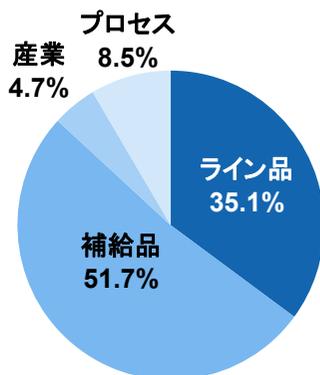


製品別売上高

17.3期

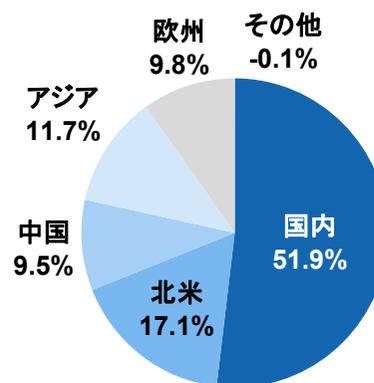


18.3期E

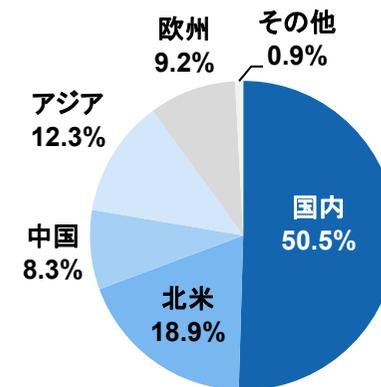


地域別売上高

17.3期



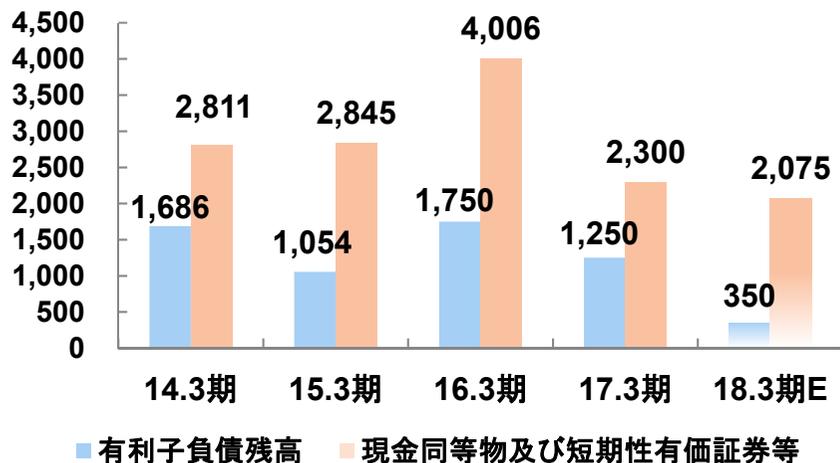
18.3期E



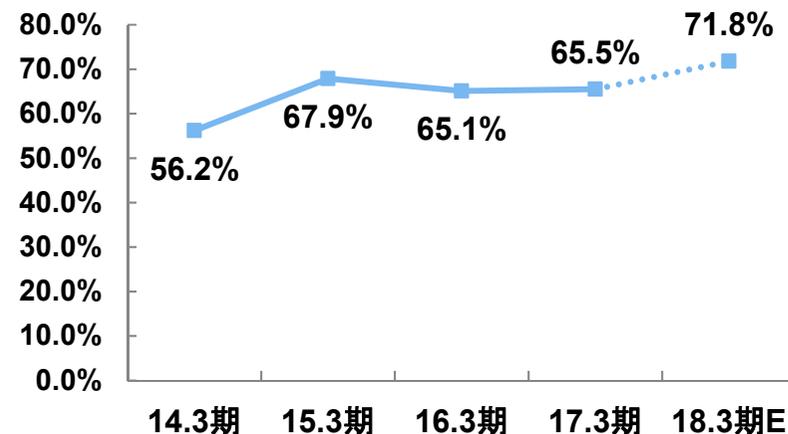
財務ハイライト

有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券等残高

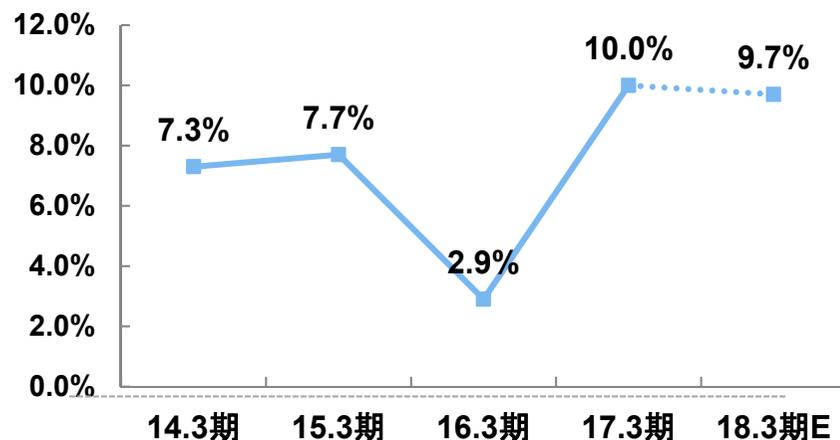
(単位:百万円)



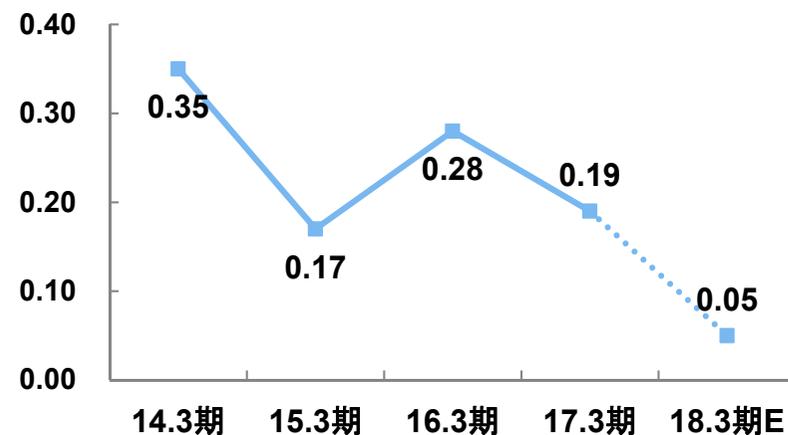
株主資本比率



ROE



D/Eレシオ



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは
ヤマシンフィルタ株式会社 経営企画室まで

TEL (045-680-1680)

E-mail: ir@yamashin-filter.co.jp